

平成 28 年度 事業報告及び決算(案)

本部事業

I 社会啓発・研修事業

「すべての県民(国民)が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現する。」(障害者基本法)ための社会啓発・研修事業

1 社会啓発事業

(1) 権利擁護事業

虐待防止法等を含め障害者の権利擁護を啓発してきた。

(2) 会報・リーフレット等による情報発信

機関紙「手をつなぐ」の購入促進に努めた。

「会報」96号(7430)部、97号(7510)部、98号(7450)部を発行して情報提供を行った。

(3) ホームページの公開

研修会やスポーツ行事等の更新に努め、情報提供を積極的に行った。

(4) あいサポート運動等を活用した、あび隊による啓発活動

あび隊の活動を通して、学校の子どもたちや保護者・教職員の方々へ「知的障害・発達障害」の理解を深めてもらうことができた。

活動部会では、平成 22 年から配布されている広島県統一版サポートファイルの見直しを行うため、広島県全域にアンケートを行った。その結果、災害時のための財布に入るくらいの防災カードが必要との声が上がっている。

2 研修・調査事業

(1) 研修(各種大会)・ 全国大会(横浜大会)には代表数名、中国・四国大会(山口；萩大会)には多数参加し、研修した。

(2) 県福祉大会(備北圏域大会・庄原会場) 下記のように開催し県内各地から参加し、研修した。

ア 事業名 第42回広島県知的障害者福祉大会・第15回はつらつ大会(本人大会)

イ 日時 平成28年10月 9日(日)

ウ 場所 (一般大会) 庄原市民会館
(本人大会) 庄原中学校体育館

エ 参加者 参加総数約753人(内本人440名) ※ボランティアも含む

オ 内容 《一般大会》メインテーマ：『お互いさまの地域をめざして』

スローガン：『見つめ合い、認め合い、支え合う社会をつくろう』

表彰ならびに来賓挨拶

講演会(午前) 講師 久保 厚子 様(全国手をつなぐ育成会連合会会長)

演題「育成会の必要性と今後の在り方」

シンポジウム(午後)

テーマ『助け合い、支え合う地域をつくろう』

《本人部会》スローガン：「心ある暖かな里山 芽吹く絆と温もり 庄原の輪」

午前；開会行事・来賓挨拶

「行政の人との話し合い」・ボクらの全力スピーチ

午後； 「アイルランドの風」 県立広島大学アイリッシュミュージックサークル
「庄原ようきんさった踊り」おなご乱舞連
大会決議文発表・閉会行事

(3) その他の研修会・セミナー

① 地域育成会活性化のための研修等事業(活動部会主催)

- ア ・ 事業内容「発達支援としての作業療法によるアプローチ」
 - ・ 申請団体；大竹市心身障害児-者手をつなぐ育成会
 - ・ 実施日； 平成 28 年 12 月 2 日
 - ・ 講 師； 石附 智奈美 さん
 - ・ 参加者数； 1 5 0 名

- ア ・ 事業内容；「障害のある子どもと生きるために子どもの持つ可能性を探る」
 - ・ 申請団体；廿日市市手をつなぐ育成会
 - ・ 実施日； 平成 29 年 2 月 28 日
 - ・ 講 師； 吉川 かおり さん
 - ・ 参加者数； 1 1 9 名

II 社会参加事業

知的障害のある人の社会参加を支援する事業

1 社会参加推進事業

○知的障害のある人が自立した生活を送る力を培うため、仲間とともに様々な研修や体験をする場を提供し、その支援を行った。

(1) 本人活動支援

本人同士の諸活動(本人交流会、本人相談会、代表者会)の支援を行ってきている。

- ① はつらつ友の会役員・代表者会を 4 回開き、本人大会(備北圏域大会；庄原会場)に向けての企画・運営を行った
- ② 中国・四国大会(本人大会){山口県萩大会(9月24・25日)}をバックアップした。
- ③ 本人による本人のための相談会・交流を2月19日(日)福山すこやかセンターで行った。
{講師；又村 あおい さん}

(2) スポーツ大会の開催、協力

- ① 県障害者陸上大会{東広島運動公園；5月8日(日)}をはじめ、県各種スポーツ大会予選会を開催し、全国障害者スポーツ大会(岩手県；10月23日～25日)に選手派遣を行った。

61名の選手、役員が参加した。個人競技では、陸上・水泳・卓球・フライングディスク・ボーリング・アーチェリーの各競技で31個のメダル(金12個、銀9個、銅10個)

を獲得した。

- ② 「2016 ボーリンピック in ひがしひろしま」を12月3日(土)東広島市賀茂ボールで行った。31チーム229名参加。

2 地域生活支援事業

○自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、知的障害のある人や保護者に相談支援等を行うとともに障害の有無に関係なく安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指す事業

(1) 広島県知的相談員研修会

広島県知的障害者相談員および各市町障害福祉担当者に向けて、「差別解消法への取組」や「発達障害者が地域で生き生きと暮らせる支援」についての研修会を下記のように2回実施した。

①講話のテーマと講師；

- ・「発達障害者が地域で生き生きと暮らせる支援について」

広島大学大学院医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 作業行動探索科学領域
石附 智奈美 さん {10月28日(金)・1月20日(金)}

- ・「障害者差別解消法への取組について」

広島県手をつなぐ育成会会長 副島 宏克 さん {10月28日(金)}
広島県 健康福祉局 障害者支援課 自立支援担当監 原田 勉 さん {1月20日(金)}

②日時・会場・参加人数；

H28年10月28日(金) みよしまちづくりセンター (三次会場) 22名 (行政関係者 5名)
H29年 1月20日(金) 育成会総合福祉センター (広島会場) 21名 (行政関係者 6名)

(2) 「第5回きらっと光る人生を考える研究大会」(共催；広島県知的障害者福祉協会)

テーマ；「自分の住みたいところで、きらっと光る人生を送る」

日 時；平成28年12月10日(土)

場 所；広島県健康福祉センター(8階)(広島県地域保健医療推進機構)

内 容；① 講話「障害者の高齢化・重度化・親亡き後の地域での生活場」の展望

講師；衛藤 晟一 さん(参議院議員(首相補佐官)、社会福祉推進議員連盟会長)

② 実践報告「障害者の高齢化・重度化・親亡き後の生活場」

講師；村上 和子 さん(大分県 社会福祉法人 シンフォニー 理事長)

③ 行政説明「障害者の高齢化・重度化・親亡き後の生活場の今後の方向性と展望」

講師；内山 博之さん(厚生労働省社会・障害保健福祉部障害福祉課長)

④ シンポジウム「安心できる親亡き後の生活場を考える」

進行；副島 宏克(広島県手をつなぐ育成会 会長)

シンポジスト；衛藤 晟一さん(参議院議員 自民党 社会福祉推進議員連盟会長)

高木美智代さん(参議院議員 公明党)

内山 博之さん(厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課長)

村上 和子さん(社会福祉法人シンフォニー 理事長)

久保 厚子さん(全国手をつなぐ育成会連合会会長)

⑤ 参加人数；223名(含 講師・実行委員)